

国際化学肥料ニュース (2017年2月)

肥料業界の2017年2月動態

- * 中国政府統計局が発表した統計データによれば、2016年の上場肥料メーカーの業績がほとんど赤字を計上している。

尿素メーカーの湖北宜化は上場後初めて赤字決算となり、赤字額1.5～1.8億ドル。尿素メーカーの四川美豊も3400～4000万ドルの赤字を計上する。りん酸肥料メーカーの雲南の雲天化は赤字額が史上最大の4.7億ドルに達した。そのほか、尿素メーカーの陽煤化工、柳工、赤天化、瀘天化、りん安メーカーの六国化工、総合肥料メーカーの中国化肥などもそれぞれ数千万ドルの赤字決算となる。重慶の建峰化工社は3年連続赤字で、2016年も約1億ドルの赤字になった結果、深圳証券取引所から上場廃止の処分が下される可能性ある。

一方、上場している化成肥料メーカーは辛うじて黒字を確保したものの、前年に比べ業績が落ちている。

- * ロシア税関の速報によれば、2016年ロシアの化学肥料輸出量3152.6万トン、金額66.46億ドル、ほかに硫黄377.5万トン、りん鉱石249.1万トン、アンモニア365.9万トンも輸出した。2015年中国に化学肥料輸出国第1位の位置を奪われたが、2016年中国の化学肥料輸出量と金額が大きく減少した結果、1年ぶりに再び世界最大の化学肥料輸出国の地位を奪い返した。

- * 中国税関の統計データによれば、2016年中国の化学肥料輸出量が22.5%減の2672万トン、金額では40%減の65.13億ドル。化学肥料輸入量が25.4%減の832万トン、金額では38.7%減の24.06億ドル。

輸出の内訳は、尿素886万トン(35.6%減)、DAP680万トン(15.3%減)、硫酸加里2.7万トン(64.6%減)。NP二成分の化成肥料65.23万トン、平均輸出価格FOB266ドル/トン。主な輸出先は東南アジアである。

輸入の内訳は、塩化加里682万トン(27.6%減)、化成肥料113万トン(22.6%減)。化成肥料の平均輸入価格CFR490ドル/トン、主な輸入元はノルウェー、ロシア、ベルギーの3か国で輸入総量の81.04%を占める。ほとんどが経済発達している南沿海地域に輸入され、最大の輸入地は広東省、輸入量が61.08万トン、主に換金作物に使用する。

2016年中国化学肥料輸出量と金額の内訳は下表に示す。

表. 2016 年中国化学肥料輸出量と金額(中国税関統計データより)

税番	品名	輸出量 (万トン)	輸出金額 (万ドル)	数量の 前年比	金額の 前年比
25101010	りん鉱石原石	24.3	2700	21.2%	6.9%
25102010	粉碎したりん鉱石	3.4	400	-18.0%	-22.0%
28092011	食品級りん酸	58.4	39200	4.0%	-8.0%
31010000	動物性・植物性肥料	10.7	2600	45.5%	28.8%
28271000	塩安	120.4	11200	10.3%	5.9%
31021000	尿素	887.1	197600	-35.5%	-49.8%
31022100	硫安	502.3	56300	-4.9%	-19.9%
31022900	硫安と硝安の混合物	0.1	-	-43.8%	-56.5%
31023000	硝安	28.2	8400	-13.0%	-18.0%
31024000	硝安と炭酸カルシウムの混合物	0.7	200	104.5%	80.4%
31025000	硝酸ナトリウム	4.8	1800	15.9%	9.4%
31026000	硝安と硝酸カルシウムの混合物	34.7	7300	13.0%	-7.3%
31028000	尿素硝安溶液	36.1	5500	-12.3%	-35.5%
31029010	石灰窒素	0.3	200	47.8%	38.2%
31029090	その他の窒素肥料	1	200	22.2%	12.7%
31031010	重過りん酸石灰	68.3	17900	-22.1%	35.0%
31031090	過りん酸石灰	73.6	13900	-27.2%	-37.7%
31039000	その他のりん酸肥料	4.2	1200	-31.1%	-16.0%
28342110	農業用硝酸加里	0.4	300	181.7%	134.8%
31042020	純塩化加里	0.4	300	111.4%	49.5%
31042090	その他の塩化加里	29.4	8700	7.6%	-12.7%
31043000	硫酸加里	2.7	1400	-64.6%	-73.6%
31049000	その他の加里肥料	0	0	-77.8%	-89.6%
31051000	10kg 以下の肥料	36.8	14200	90.4%	54.9%
31052000	NPK 化成肥料	0.8	400	-87.5%	-88.1%
31053000	DAP	679.8	229000	-15.2%	-37.6%
31054000	MAP 及び MAP と DAP 混合物	202.6	68700	-26.1%	-40.4%
31055100	硝酸塩及びりん酸塩を含有するもの	2.4	600	-60.9%	-66.3%
31055900	窒素とりん酸の 2 元素肥料	65.2	14800	-23.8%	-41.8%
31056000	りん酸と加里の 2 元素肥料	0.7	200	-55.4%	-43.0%
31059000	その他の肥料	15.6	4200	35.4%	11.8%
	合計	2809.4	667200	-21.5%	-39.5%

- * ウクライナの CherKassy Azot 社は停止している 1 本のアンモニア生産ラインを再稼働すると発表した。再稼働により、尿素生産能力が 2050 トン／日、硝安生産能力が 3000 トン／日に増加する。
- * 調査会社 ICIS 社の報告によれば、シェールガス革命の影響を受け、2016 年アメリカの尿素生産能力 24%、実生産量約 10%増加し、尿素価格の低下もあり、輸入金額約 34% 減少した。2017 年も新たに 5 か所アンモニアと尿素の新工場が完成し、さらにアンモニア生産能力が 200 万トン、尿素生産能力が 410 万トン増加する。廉価のシェールガスによりアメリカの尿素生産平均コストが 130 ドル／トンで、中東石油諸国とロシアに次ぐ低コストで生産できる。2020 年頃、アメリカは尿素輸出国に転じる可能性がある。
- * 中国税関の速報によれば、今年 1 月の肥料輸出と輸入が大幅に落ち込む。1 月の肥料輸出量が前年より 50.4%減の 123 万トン、輸出金額が 59.5%減の 2.46 億ドル。その内訳は尿素が 83.2%減の 24 万トン、DAP が 15.0%減の 15 万トン、硫酸加里が 91.7%増の 1736 トン、化成肥料が 26.3%減の 9694 トン。
 一方、化学肥料輸入量が 5.3%減の 106 万トン、輸入金額が 32.5%減の 2.56 億ドル。2007 年以降初めて化学肥料の輸入金額が輸出金額を超えた。その内訳は塩化加里が 0.7%減の 97 万トン、化成肥料が 28.0%減の 7 万トン。
 今年から中国化学肥料の輸出関税は加里肥料と化成肥料だけ残して、ほかは全部撤廃されたが、インドと南米の需要不振による国際市場価格の低迷、中東諸国に比べて中国産化学肥料コストが高く、環境問題による国内稼働率の低下など、中国産化学肥料の国際競争力が確実に低下して、輸出に悪影響を及ぼす。
- * インド農業省が 2017～2018 年度に加里肥料の補助金の削減を提示した。インドは中国に次ぐ第 2 の加里肥料輸入大国で、国内の加里肥料がほぼ全量輸入に依存する。塩化加里の国際市場価格の下落で、財政赤字額を圧縮するために補助金を削減しても国内の加里肥料小売価格に悪影響を及ぼさないと考えている。
- * 消息筋によれば、中国と加里メーカーとの間に 2017 年の加里輸入価格と数量に関する総合契約の交渉は 3 月末始まる。中国側は塩化加里の輸入数量が若干減少したものの、価格が現状維持（2016 年の価格は CFR219 ドル／トン）にするスタンスである。
- * 中国政府統計局の公式統計データによれば、2016 年中国の化学肥料生産量 7004.92 万トン（100%N,P,K 換算、以下同）、前年より 4.8%減少した。その内訳は窒素肥料が 7.9%減の 4458.8 万トン、りん酸肥料が 0.2%減の 1828.6 万トン、加里肥料が 8.36%増の 633.3 万トン。

各地域の生産量順位では、湖北省が1位の1156万トン、貴州省が2位の608.9万トン、青海省が3位の552.2万トン、河南省が4位の532.4万トン、山東省が5位の528.5万トン。貴州省がりん酸肥料、青海省が加里肥料の関係でプラス成長を実現した。

- * 中国窒素肥料工業協会の報告によれば、2016年中国窒素肥料業界が過剰の生産能力を解消するために積極的に行動し、計アンモニア生産能力292万トン、尿素生産能力433万トンを削減した。また、約500万トンを長期休止にさせている。その影響を受け、2016年のアンモニア生産量が9.3%減の6056万トン、尿素生産量が12.3%減の6192万トンであった。2017年1月1日現在、中国の尿素生産能力が約7700万トンまで減少したが、国内尿素需要量5700万トンに対して、まだ約35%の過剰である。また、2017年に新たに3本の尿素生産ラインが完成し、生産能力が約90万トン増加する予定である。従って、2017年も引き続きアンモニア生産能力340万トン、尿素生産能力300万トンを削減する計画である。
- * 2017年、新設尿素生産設備の完成により、世界全体新たに約700万トンの尿素生産能力を増加する。上半期だけでも、中国は3ライン約90万トン、アメリカは2ライン約160万トンが稼働される予定である。

大手各社の営業業績

- * サウジアラビア国営 SABIC 社の肥料子会社 SAFCO 社は 2016 年第 4 四半期の業績を発表した。化学肥料の輸出価格低下と生産コストの上昇により、純利益が 25%減の 7580 万ドルである。
- * アメリカの Mosaic 社は 2016 年第 4 四半期の業績を公表した。りん酸肥料と加里肥料は生産量が増加したものの、価格の下落で、売上と利益が悪化した。売上高が前年同期より 13.7%減の 19 億ドル、純利益が 92%減の 1200 万ドルしかなかった。各部門の業績ではりん酸生産量が 13.6%増の 250 万トン、売上高が 10.4%減の 8.96 億ドル、加里肥料生産量が 10.5%増の 210 万トン、売上高が 28.8%減の 4.07 億ドル。2016 年の年間売上高 72 億ドル（19.1%減）、純利益 2.98 億ドル（70.2%減）であった。
- * カナダの Agrium 社は 2016 年第 4 四半期の業績を公表した。売上高が 5%増の 22.8 億ドル、純利益が 67%減の 6700 万ドル。各部門の業績は、窒素肥料販売量 95.4 万トン、粗利 8500 万ドル、りん酸肥料販売量 30.3 万トン、粗利 800 万ドル、加里肥料販売量 59 万トン、粗利 2100 万ドル、農薬売上高 6.23 億ドル。2016 年間の純利益が 40.1%減の 5.92 億ドル。

- * ノルウェーの Yara 社は 2016 年第 4 四半期の業績を公表した。化学肥料生産量が 11% 増、販売量も 15% 増であるが、尿素、化成肥料の価格下落により、純利益が 3990 万ドルの赤字である。
- * ロシアの Eurochem 社は 2016 年第 4 四半期の業績を公表した。粗利が 11% 減の 3.82 億ドル、営業利益が 22% 減の 2.83 億ドル。化学肥料部門では売上高が 12.7% 減の 6.87 億ドルであった。なお、化学肥料の 2016 年年間売上高が 19% 減の 27.9 億ドルで大きく減少したため、全社の粗利が 18% 減の 16.2 億ドル、営業利益が 30% 減の 11 億ドルであった。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

その他

- * 2 月 8 日、アメリカ国際貿易委員会はアメリカに輸出された中国産硫酸がダンピングと不正補助金により、アメリカ産業に損害を与えたことを認定した。出席した委員全員が認定に賛成票を投じた。この認定は最終的な認定で、アメリカ商務省がこの認定を受け、近いうちに中国産硫酸に対してアンチダンピング関税と不当補助金相殺関税を発動する予定である。
- * アフリカのギニア政府は 2017 年モロッコ政府から 10 万トン化学肥料の無償援助を受け入れると発表した。近年、モロッコが積極的に同じアフリカの国に化学肥料の援助、肥料産業への投資などを行う。